

# 鈴蘭 第14号

発行者 青木 伸弘  
 編集 「鈴蘭」編集委員会  
 〒763-8507  
 香川県丸亀市津森町219番地  
 TEL (0877) 23-5555  
 FAX (0877) 23-6200  
<http://jyujin-mmc.jp>  
 題字 青木 伸弘



## 少子高齢化社会・地域民間病院・ 社会福祉費抑制時代を考える

まるがめ医療センター

理事長 青木 伸弘



新年、明けましておめでとうございます。今年も「まるがめ医療センター」へと名称が変わり、約1年4か月が経ちましたが、少しは地域の皆様方に、新たな名称を馴染んで頂けているかどうか心配なところです。

昨年、6月に受審しました「日本医療評価機構」の結果、9月に合格の通知を受け、認定書を査収しました。これは、当院の職員の日ごろの努力の結果だと理解をして、医療機関としての存在価値を「公」に認定されたと自負しております。この「認定」を励みに今後も努力を怠ることなく、前向きに改革・改善を遂行して行く所存です。因みに、今回の当院の様な認定評価医療機関は、近隣では「四国こどもとおとなの医療センター」「回生病院」「香川労災病院」などです。当院の経営に携わって約5年が経ちますが、病院の顔である医師の招聘の難しさに悩まされた5年間だと言っても過言



ではありません。それは、丸亀の地域的なものなのか、当院の過去の問題なのか、はたまた全く別の要素が絡んでいるのか、甚だ判断が難しいこの数年間だった様に思います。大学との関係も同じで、平成16年に新医師臨床研修制度が施行されるようになって、それまで大学に残るべき人材（平成15年以前迄）が、研修医にとって親切的な研修プログラムと真摯に向き合っている地方の優良民間病院へと、その流れが大きく変わりました。その結果、それまでの大学の医局から医師が減り、今までの当院の様な大学との関係を重視してきた民間病院は、否応なく医師の派遣を人材不足で断られる事態となりました。私もそうですが、それまでの大学での研修とは報酬も出ないし、只の働き手でしかなかったのですが、その制度に問題ありとの結論が出て、平成16年から臨床研修制度は必修化され、給料が出るようになったのです。更に、地方への医師不足を補うために2020年度（平成は終了で新年号は？）は、初期臨床研修制度の大規模改正が予定されています。

その改定によっては、我々民間病院の将来がある程度予想ができるようになると思います。どちらにしても、「少子高齢化社会」では、国の予算に限りがあり、国や厚労省の予算組みや診療報酬の改正などは、今まで以上に厳しい時代に突入すると言っても過言では



なく、「国民皆保険」という日本が世界に誇る医療制度をも崩壊し、開業医の先方が反対していると言われている「混合保険」という「民間保険」と「国民皆保険」との一部融合が必要不可欠になる時代も遠くないのかも知れません。医学や医療技術や薬剤・機器が絶え間なく進歩を続けている現状で、それを賄う財源が無いとなれば致し方ないのかもしれないと思っておりますが、そのことが「患者さんである皆さんへの負担、医業を営む我々への影響」にどのように連動しているのか、予測できません。厚労省は、社会福祉費をどの様に食い止めるのか、この数十年躍起になってきましたが、日々進歩する医療、増え続ける高齢者を考えたら、消費税を延期などしている場合ではないと思えてなりません。今年、平成天皇も退位され、新たな年号になるよう、我々も新たな気持ちで新年を迎えたいと思います。

今年も「まるがめ医療センター」を、宜しくお願い申し上げます。

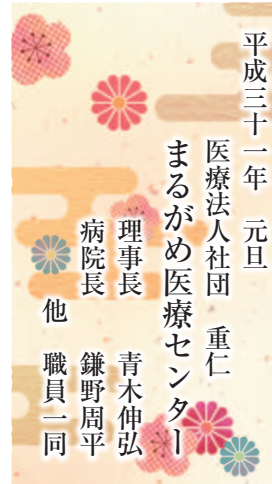
### 謹賀新年

旧年中のご厚情を深謝すると共に、本年も変わらぬご指導をお願い申し上げます。

平成三十一年 元旦

医療法人社団 重仁  
 まるがめ医療センター

理事長 青木伸弘  
 病院長 鎌野周平  
 他 職員一同



就任のご挨拶



内科部長 兼 医局長

万波 俊文

新年明けましておめでとうございます。この度、私こと万波俊文ですが、平成30年11月1日より、まるがめ医療センター(MMC)の内科部長を拝命頂き、僭越ながら新年のご挨拶を兼ねて、今後の抱負等についてお話しさせて頂くことになりました。

ところで、ご存じのように、我が国は、超高齢少子化を“邁進”しており、最近では、人生100年時代とまで言われるようになってきています。寿命が延びることは、基本的にはおめでたいことだと思いますが、一方で、このまま国の予想通り(国の予想は、あまり当たらないうのですが)にいけば、2040年ごろまでは、年間の死亡者数(現在約130万人)は、年間2〜3万人のペースで加速度的に増加していき、170〜200万人に達すると予想されています。

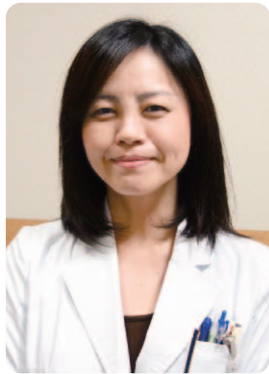
丸亀市の人口は約10万人で、高齢者(65歳以上)の割合は、日本全体の割合とほぼ同じで、現在約32%です。つまり、ごく簡単に言いますと、日本の人口を1億人(実際は約1億2,000万人)と仮定すれば、1,000分の1のペースで全国と同じ現象になるということになり、2040年ごろまで、丸亀市の死亡者数は、年間20〜30人のペースで加速度的に増加していき、年間1,

700〜2,000人になると予想されます(そのため、丸亀市の人口は、20〜30%減少し、7〜8万人にまで減少すると予想されます)。因みに、香川県は、現在約100万人から、2040年ごろには、70〜80万人ぐらいいまで減少するのではないかと予想されています。

以上のことを踏まえて、私が言いたいことは、丸亀市の人口は減少していきますが、丸亀市の医療および介護を含めた需要(必要性)は、ますます加速度的に増えていき、まるがめ医療センター(MMC)の役割も、今までは以上に重要なものになっていくのではないかと考えています。

その中で、内科医師の果たす役割は、今後加速度的に増加する、死亡者の約60%を占める癌、心臓病や脳血管疾患、肺炎等の人々を、看護師や薬剤師、栄養士、リハビリを担当する人、ケースワーカーの人達とチームを組んで総合的に治療や介護等をより円滑に効果的にしやすくすることではないかと考えています。

そして、そういうことが出来やすくなる環境を整えることが、内科部長の役割のひとつではないかと考えております。今までの皆さまのご協力をお願いし、稚拙ながら内科部長就任の挨拶とさせて頂きます。



健康管理センター

センター長 惣田 麻衣

医師として働き始めて、気がつけばもうずいぶん経ちました。

昔から数学や物理が好きで宇宙工学などを勉強したいなと思っていました。医学部など全く考えていませんでした。高校時代、医学部を目指す友達は当たり前にも勉強していた生物の授業は一度も選択したことがなく、自分が一番苦手で関わりたくない分野でした。しかし、大学受験に大失敗。シヨックを受けていた私のもとにやってきたのは親戚達でした。自分の志望校は落ちたものの、高校の方針でほぼ強制的に受けさせられた医学部には合格していたので、医師になつてはどうかと説得に来たのでした。その時そんなつもりは全くなく、浪人をさせてもらうことにしました。1年間勉強をする中で、医師になる方が身近な人だけでなくたくさんの方の役に立てるのかなと思いつき、医学部へと路線変更したのでした。とはいえ、やはり初めは、人に触るのも苦手、話すのも嫌いで、つくづく間違っていた。と後悔しました。それでも、実際に医師になってみると、毎日新鮮で楽しいことも多くなっていきました。救急が盛んな病院で勤めていたころは、何日も家に帰れず、毎晩毎晩ひたすら患者様を診続けましたが、しんどさを感じながらも、少しでも患者様の苦痛や不安を軽減したいという思いは次第に強くなっていったのです。

今となつては、そういった激しい働き方は出来ませんが、そのかわり、患者様とゆっくり向き合つて、身体的にも精神的にも助けになれる診療を目指したいなと考えております。

このたび、健診科という部署で、診察に関わっておりますが、自覚症状があつて自らの意志で来られる保険診療とは違い、診察上の難しさも感じます。受診者様の中には、会社からの指示で仕方なく来ている方もたくさん居られ、ご自身の健康を疑わない方もおられます。自覚症状のない方に異常をお伝えし、納得して頂く為には、より丁寧な説明が求められることを、日々、実感しています。

ICT エピソード⑤

11月に「インフルエンザについて」「ICT活動について」の院内全体研修が開催されました。



私たちICTは皆様の健康を守るため、日々学習を行っています!



良い結果に安心される方、生活上の改善点を指摘される方、要精査となる方など、様々な方いらっしゃいます。どんなにきつかけであれ、健診を受けに来て下さった方には、少しでも何か得るものがあつたと思つて帰って頂きたいと思つるとともに、要精査者の精査率、特に当院外来での精査率を上げ、病院全体で患者さんの健康維持への貢献を目指していきつかけつくりができればと思つています。そのためには、各検査の精度をしつかり管理し、質の高い健診を目指すべくスタッフ一同、努力しております。ガイドラインに基づいた結果判定を基本としておりますが、内容によっては外来保険診療での基準と少し違うものもあり、ご面倒をおかけすることもありますが、各専門の先生方にアドバイスを頂きながら、より現実的な結果判定にしていきたいと思つたので、どうかよろしくお願いたします。

# 新春のお慶びを申し上げます



医業に携わっているという誇りと謙虚さを持ち続け、  
今年も皆様とともにこの地域で成長し続けたいと願っています。

皆様の生活の中で、健康と心に寄り添える様頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。



**臨床工学科主任 加藤 伸也**  
我々、臨床工学技士は医療機器の専門家として、安心・安全な医療を提供できるよう心がけています。今年も患者様に安心して医療を受けていただけるように、医療機器の管理を行なっていきたいと思っています。

**看護部 3階病棟師長 佐藤 真由美**

18歳で当院に就職し40年余り、昭和・平成と時は流れ、新しい元号の年を迎えようとしています。後数年ですが、皆様に迷惑をかけないよう健康に注意し頑張りたいと思います。

**健診科 係長 関 綾子**

健診科に「再」配属となりました。新システム導入に伴い業務の流れなど以前と異なる業務があります。業務全体の効率化を図り、全員が余裕を持つて日常業務に携わるための一助になれるよう取り組みたいと思います。

**リハビリテーション科 竹中 理久**

昨年4月に入職しもうすぐ1年が経ちます。職場環境・仕事内容にも慣れてきました。初心を忘れないよう心掛けていきます。また、患者さんと分け隔てなく向き合っていきます。

**医事課 多田羅 亮**  
入職から早8年経ち、医事課職員としては4年目になりました。病院の顔として患者様をこれからも暖かくお迎えし、心の負担を和らげる事の出来る人間でありたいと思います。

**リハビリテーション科 田村 綾香**

昨年4月に就職し、もうすぐ1年が経ちます。仕事内容や職場の環境にも少しずつ慣れてきた所ですが、これからの緊張感を忘れず一生懸命患者様のことを考えて頑張っていこうと思います!!

**地域医療連携室 浪越 美津希**

信じがたいスピードで年月は過ぎ、再び年女となる一年を迎えることができました。年々硬くなる脳と流出していく記憶に格闘しながら、ソーシャルワーカーとして少しでも成長を実感できるように1年にしたいと思います。

**看護部 4階病棟 古本 恭輔**

4月に入社し、業務の二連の流れを理解してきたのですが、まだまだ失敗ばかりです。これからは今まで以上に気を引き締めて頑張りたいと思います。

**看護部 5階病棟 堀川 華奈子**

先輩看護師さんの指導のお陰で日々の業務にも少しずつ慣れてきました。患者様がリハビリの成果で出来ることが増えていっているのが目に見えて分かり私も嬉しいですし、今後も個別性に応じた看護を提供したいと思います。

**事務次長 増田 修司**

はや4回目の年男になりました。幅広い業務対応が求められる仕事について、改めてコミュニケーションの必要性を実感しています。今年も、職員が一致団結し、病院を盛り上げ、地域の皆様に貢献できるよう努力して参りたいと思います。

**検査科 水口 あゆみ**

年々月日の流れを早く感じるこの頃ですが、昨年は新しく覚えることも多く、あつという間に一年がたちました。今年ももう少し心にゆとりを持ち、笑顔で患者様に接し、安心して検査を受けてもらえるよう日々努力していきたいと思っています。

**栄養科 三宅 彩未**

当院に就職して1年が経ち、少しずつ業務にも慣れてきました。今年も去年以上に知識を増やし、管理栄養士として成長できるように日々努力していきたいと思っています。

**のぞみ保育園 向井 雅子**

歳をとるのって早いんですね。自分がこんな年になるなんて想像もしてなかったんですね。今年も自分の時間をつくり少し前から始めた山登りにいき友達と交流しながら健康づくりをしたいと思っています。今年も健康に楽しく過ごしたいと思います。





なにかと楽しいイベントの多い冬！  
 ついつい食べ過ぎてしまうことありませんか？  
 そんな日の翌日、あなたはどのように過ごしますか？

## ちょっと待って！ その生活、太る原因かも!?

### A いつも通り食べる




いつもと同じ量の食事をする、前日の食べ過ぎた分が消費されきれず、脂肪になりやすいです。食べ過ぎた翌日はいつもより少し控えることを意識してみてはいかがでしょうか？

### B 体を動かす



冬は寒さによって血流が低下してしまいがち… ウォーキングなど体を動かして血行を促すことはgood!! 代謝がよくなり、痩せやすい身体作りができていますね！

### C 朝食を抜く



1日3食食べないと、体がエネルギーをためこみやすくなってしまい、太る原因になる可能性が高いです。朝に軽めのおかゆやお茶漬けなど消化しやすいものを食べるのがオススメです！

健診科管理栄養士

## こんにちは！「通所リハビリテーションまるがめ」です！



通所リハビリテーションまるがめは今年で13年目に入ります。看護職員3名、介護職員7名、事務職員2名、送迎運転士1名、専属理学療法士4名で頑張っています。施設利用時間は9時～16時15分までで、朝ご自宅までお迎えに行き、来所後は入浴・リハビリ・昼食・レクリエーション・余暇活動等を行い、夕方ご自宅までお送りします。

ご利用するにあたり介護保険制度に基づく要支援・要介護認定を受け、また、医師から「リハビリテーションが必要」と認められる必要があります。単なる機能訓練ではなく【自分らしく生きること】【社会生活を取り戻すこと】が重要でそのために行われるすべての活動がリハビリテーションとなります。それには理学療法士 (PT) や作業療法士 (OT)、言語聴覚士 (ST) のようなリハビリテーションの専門職だけでなく、他職種スタッフやご家族、ボランティア等の支えが大切になります。

ご利用中の利用者の方は、特に入浴と昼食を楽しみにしてくださっているようです。余暇活動の中で男性は囲碁や将棋等が多く、女性は塗り絵や脳トレ等をするのがここ最近でのはやりのようです。外には季節の野菜を栽培しており、植え付け時期や収穫時期には利用者と職員と一緒にいきます。興味のある方は是非遊びに来て下さいね。



### プライド

よく「私のプライド」が許さないと、「プライドにかけて」ということ聞きます。それでは、「一体「プライド」とはどのようなものでしょうか。

プライドは会社が大きいか小さいか、肩書が立派かどうか、関係ありません。どれだけ自分と、自分の仕事に責任と価値を見出せるかです。これが「プライド」になります。どんな仕事をしていても何かに賭けなければいけないときがあります。人生の賭けには、それなりの覚悟が必要です。勝つために全力を尽くす、愚痴をいわず人のせいにならず、できることはすべてやることです。そして、結果は真摯に受け止めることが大切です。

これが「プライド」です。自分のプライドを持ちましょう。

加藤 繁秋



本日の担当医は  
皮膚科  
藤田和子  
医師です。



ズコ先生の  
「加齢を華麗にBeautiful Life」  
「潤っていますか？」

本格的な冬到来！

身も心も縮まりがちになりそうですね。早速ですが、(前回話した)見た目の老化になっていませんか。背筋を伸ばして(伸ばす意識をして)、スタスタと歩きましよう。(タラタラ歩かない!!)

そしてお肌の大敵、「乾燥」。もし、肌になが吹き始めていたらすでにそこには炎症がある状態。炎症の持続と蓄積が老化現象で、シミやシワになるのです。これも前回話したように介入や治療で改善できるのです。(老化さん、ちょっと待った!!)って感じでしようか(笑)

今回はそんな抗加齢の必須アイテム「潤い」のお話。潤いって…①適度な水分・しめりけ ②精神生活が豊かなこと・情趣 ③金銭的な余裕 と辞書にある。個人的順位はさておき、ゼーンぶ大事ですよ。

肌の潤い・瞳の潤い・髪の潤い

人の皮膚は、自らも毛細血管から水分を出して潤っていることになっています。水分は乾いたところに流れる性質があるため、特に空気が乾燥している冬や室内エアコンなどの暖房器具により、肌に蓄えられている水分が空气中に流れ

ています。戸外だけでなく室内でも空気は乾燥しているのです。

肌を乾燥してしまふ湿度はおよそ60%以下。天気予報の湿度情報も要チェックですね。

肌の適正湿度は60から65%程度。加湿器や室内に洗濯物を干したりして適切な湿度を保つと肌は乾燥しにくくなりますよ。



ここで乾燥の強い冬にやってしまいがちな点を挙げます。

- 薄着：若い女性のオシャレさんに多い傾向かな。露出度が広いと、肌が直接空気に触れ水分が奪われたり、体温が下がったりすることによる血流低下が新陳代謝を妨げます。
- 熱い風呂や長湯：皮膚を守る皮脂が溶け出し失われる。つてことは、入浴後、より早く水分が逃げ乾燥するのです。
- 保湿ケア用品：使用感が良くお気に入りを通年つかっている。

保湿のスキンケアのポイントは、冬はより保湿力の強いものに変えたり、2回以上保湿をしたりする。そして、①セラミド②ヒアルロン酸③コラーゲンの成分が入っている保湿剤を選びましょう。ぬるめのお湯につかり、入浴後はやはり保湿ローションとオイルによる水分の閉じ込めですね。

潤いのために取り入れたいこと

- ★ ヒアルロン酸：保水機能の成分。継続的に補うこと。サプリメント、化粧品。
- ★ セラミド：角質のある脂質成分。肌の保護、弾力、バリア機能、ヒアルロン酸の機能に不可欠。大豆・芋こんにやく、ヨーグルト・ほうれん草
- ★ グルコサミン：ヒアルロン酸の原料。爪や皮膚に含まれ潤いを維持。サプリメント。

★ スクワラン：皮脂に含まれる油脂。免疫力・抗酸化力・殺菌作用で皮膚や粘膜の保護。オリーブオイル。体内でコレステロールにかわるので取りすぎ注意。

★ ビタミンA(カロテン)：皮膚粘膜の潤いを維持。緑黄色野菜・海藻類・緑茶。

★ ビタミンB2・B6：細胞発育のビタミン。マグロ・鮭・さんま・サツマイモ

★ ビタミンC：コラーゲン生成に不可欠。メラニン色素の生成抑制。果物・野菜

★ 亜鉛：肌・髪・爪の健康維持。牡蠣・レバー・牛乳・チーズ

★ カシス：ポリフェノールの一種のアントシアニンが豊富。ブルーベリーに勝る眼精疲労緩和やピント調節、末梢血管拡張作用からのクマの改善



連携室だより

新年おめでとうございます！今年も連携室スタッフ一同、チーム医療を心がけて頑張っていきますのでよろしくお願ひいたします。

さて今回は連携室業務の一つ、「紹介診察」についてお話します。

皆様はかかりつけの病院をお持ちですか？もし当院の専門外来の診察をご希望の場合は、かかりつけの先生へご相談ください。皆様が安心して受診ができるよう、当院では他の医療機関の先生方と左記図のような連携をとっています。当院を受診するにあたって、分からないことや不安なことがあれば、お気軽に地域医療連携室までご相談ください。



や緑内障治療の報告がある。これからは、カシスの時代が来るでしょう。

最後に心の潤い…。深呼吸をしてリラックスをして自然を感じ、日々の生活の中に幸せや喜びや楽しさや感謝そして誰かを愛おしいと思う気持ち、いたわる気持ち、涙も笑顔もいっぱいあふれる感情。あなたの心は潤っていますか？



お問い合わせ先 0877-23-5850 (地域医療連携室 直通)  
受付時間：月～金 8:30～17:30 ± 8:30～12:30

# 職場長の夢



科長 横山 祐司  
薬剤科

め、また、職能を発揮して臨床に即した薬剤師として、資質向上の研鑽に努めていきたいと思えます。当院の行動指針の1つである「他部署に興味を持ち、連携を密にチーム医療の充実に努める」を念頭に置き、信頼される・活気のある薬剤科を目指して日々の業務を遂行していきます。これからもよろしく願っています。

薬剤科は、現在8名のスタッフで業務を行っています。主な業務は、調剤・注射剤調剤業務、医薬品管理業務、化学療法業務(抗がん剤調整)、医薬品情報業務、病棟業務(薬剤管理指導業務)などです。  
薬剤師は、「薬」を通して患者さんの治療に関わっています。医療スタッフのチーム医療による薬のスペシャリストとして、薬物療法の有効性と安全性に責任を持ち、医療の質の向上と医療安全の確保に不可欠な存在として認知期待されています。  
薬剤科の存在価値を高めるため、また、職能を発揮して臨床に即した薬剤師として、資質向上の研鑽に努めていきたいと思えます。当院の行動指針の1つである「他部署に興味を持ち、連携を密にチーム医療の充実に努める」を念頭に置き、信頼される・活気のある薬剤科を目指して日々の業務を遂行していきます。

## 食べましたか?おせち料理



「おせち料理」は「節の日」に神さまにお供える食べ物という意味で古くから伝承され、黒豆は健康でまめまめしく働けるように。数の子は親・子・孫と子孫繁栄を願って。田作りは農耕民族である日本人の五穀豊穡を願ってなど、意味の深い料理も多くあります。

全国的にも珍しい讃岐ならではの味としては、皆さんご存知の「あんもち雑煮」があります。甘みの少ない時代にお正月に食べるあんもち雑煮は、何よりのごちそうだったようです。白味噌を使用し、家族仲良く円満でありますようにとの願いを込めて、野菜は輪切りにするとされています。その中でも欠かせないのが、「金時にんじん」ではないでしょうか。

香川県の沿岸地域での栽培が盛んで全国シェアの70%を占めているこの金時にんじんは、見た目には美しいだけではなく、リコピンを多く含み、ビタミンA、B、Cや食物繊維が豊富に含まれており、日頃から積極的に摂りたい食材です。 栄養科 管理栄養士

### 編集後記

新しい年を迎えて祝い酒を飲みますが、その時「お屠蘇を振舞われた」と言います。実はお屠蘇は「酒」だけではありません。山椒、肉桂、桔梗、ミカンの皮、赤大豆など7種類の薬草と酒を、紅色の三角形の袋に入れて浸して作ったものです。お屠蘇を飲む習慣は中国で始まり、平安時代に日本に伝わったといわれています。江戸時代には一般庶民に広まったそうです。それにはこんな意味があります。「屠」は身体をバラバラにすることです。「蘇」はよみがえることです。つまり、身体の隅々まで行き届いて蘇らせる効能があるということになります。そんなお屠蘇を元旦に飲めば、一年の邪気を避け、年を延ばすことができるということです。当院も再建6年目を迎えます。お屠蘇を飲んですます「勢い」のある年にしたいものです。 加藤 繁秋

## 人間ドック・脳ドック・乳がん・子宮がん検診 冬の特別プランのご案内

健康管理センターでは期間限定の支援価格にて人間ドック、乳がん検診、脳ドックを実施します。是非この機会に一度、受診されることをお勧めします。

予約期間 4月20日(金)まで

● 脳ドック 18,000円

実施期間 1~4月 (火・木・金・土曜日のみ)



● 乳がん検診・子宮がん検診

対象者は30~39歳の女性

乳房超音波(エコー)検査: 3,000円

乳房超音波(エコー)検査+子宮頸がん検査: 5,000円

実施期間 1~4月(火・木・金・土曜日のみ)

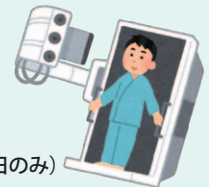


● 人間ドック

男性: 26,000円

女性: 32,000円

実施期間 3~4月(火・木・金・土曜日のみ)



詳細は健康管理センター(☎0877-24-8300)までお問い合わせ下さい。

## スタッフリレー Vol.11

氏名 山本 眞也 所属部署 地域医療連携室

前回 新名さんからの質問

Q マイブームを教えてください

A 学生時代から続けていることはバンド活動です。現在は、年数回のライブ出演など、規模を縮小し細々と活動しています。また、リハビリテーション科のセラピストと音楽スタジオに入ってセッションしたり、魚釣りに行ったりと仲良く遊んでもらっています。



放射線技師の新名さんから、ハードルの高いたすきを預かりました、医療ソーシャルワーカーの山本です。月日が経つのは早いもので、当院へ移籍しはや5年、MSWとなって10年、社会人となってから干支の二順目に突入してしまいました。さて、日々の業務の中で、『患者様に寄り添うこと』と、『自己決定の尊重』を大切に、患者支援と院内外の多職種との連携と協同に努めてきました。しかし、自身の支援が単なる調整となっていないか、患者様の思いを受容できたか、と悩むこともしばしばです。誰にとっても相談しやすいソーシャルワーカーであることを心がけていますので、職員、患者様を問わず、よろず相談はソーシャルワーカーへお気軽に是非どうぞ。  
次は、『笑顔が素敵な癒し系』の、あの人にたすきを繋ぎたいと思います。

小さい頃の夢は何でしたか? 私から「あの方」への質問

## 2018年忘年会

昨年12月20日、ホテルアネシス 瀬戸大橋にて恒例の忘年会が開催されました。食べて笑って飲んで賑わい、平成の締めくりにふさわしい盛会となりました。職員一同、更なる発展を目指した1年頑張っていました。

